

平成27年度 課の事業一覧

組織名	危機管理室	危機管理課	重点項目	「想定を超える災害でも命を守る防災体制」の強化を図るため、総合的な防災体制の充実強化に取り組む。 27年度は全国各地における豪雨災害の教訓などを踏まえ、土砂災害への対応の強化につながる事業を進める。				
	課長名	本郷 英麿		コスト	事業費	27年度当初予算額	人件費	目安の金額
					193,338 千円		162,000 千円	係長 6 人
								職員 9 人

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1	○	みんなdeBousaiまちづくり推進事業	災害から命を守りぬくために、自ら命を守る「自助」意識の醸成や地域で助け合う「共助」の風土づくりなどによる地域防災力の向上を目指して、モデル事業を実施するとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組む。	想定を超える災害でも命を守る防災対策の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の強化</li> <li>・防災意識の高揚</li> <li>・土砂災害防止法改正に伴う体制の充実・強化</li> </ul>	<p>大規模災害時には、行政機関も同時に被災するため、市民の命を守るためには、自分の命は自分で守る「自助」と地域で助け合う「共助」の重要性が指摘されている。そのため「みんなdeBousaiまちづくり推進事業」の実施や防災訓練の実施など、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。</p> <p>また、全国各地における豪雨災害の教訓や土砂災害防止法の改正を踏まえ、土砂災害への対応の強化につながる事業を進める。</p>
2		新・雨量観測体制の強化	土砂災害対策として、周辺に雨量計が少ない地域に雨量観測局を4箇所増設し、リアルタイムで降雨量を監視する体制を強化する。			
3		防災資機材等整備	北九州市地域防災計画・北九州市水防計画に基づき、災害応急対策用資機材等を整備する。			
4		大規模災害に備えた非常食糧飲料水備蓄整備事業	大規模災害に備えた非常用の食糧及び飲料水備蓄を整備する。			
5		防災一般	防災対策事業全般にわたる管理運営を行う。			
6		防災啓発事業の推進	防災フォーラムの開催や北九州大水害(28災)のDVDを作成する等、市民の防災意識の高揚を図る。			
7		災害対策支援体制の整備	防災に関する専門家からの助言及び指導等を受け、災害予防、応急対策の検討を実施し、避難体制の実効性の向上を図る。			
8		避難行動要支援者避難支援事業	自力又は家族等で避難することが困難な高齢者・障害者の名簿を作成し、地域へ情報を提供することで、災害時の自助・共助による避難支援の仕組みづくりを促進する。			

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
9		被害認定調査研修事業	被害認定調査を迅速・確実に行うため、職員に対して調査技術の維持・向上を図るための研修を行う。	想定を超える災害でも命を守る防災対策の充実・強化	・地域防災力の強化 ・防災意識の高揚 ・土砂災害防止法改正に伴う体制の充実・強化	大規模災害時には、行政機関も同時に被災するため、市民の命を守るためには、自分の命は自分で守る「自助」と地域で助け合う「共助」の重要性が指摘されている。そのため「みんなdeBousaiまちづくり推進事業」の実施や防災訓練の実施など、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。 また、全国各地における豪雨災害の教訓や土砂災害防止法の改正を踏まえ、土砂災害への対応の強化につながる事業を進める。
10		DIG(住民参加型災害図上訓練)	地震や津波想定に加え、土砂災害警戒区域を対象とした、住民参加型災害図上訓練(DIG)を実施する。			
11		想定外に備えた災害対策の強化	災害を限定せず、あらゆる災害に対応できるように備える経費。			
12		危機管理推進事業	「北九州市危機管理基本指針」に基づき、想定される危機事案に関し、専門家や関係機関等との連携を図り、危機管理体制を強化させる。			
13	○	防災訓練	各区の地域特性に応じた防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚と区における防災体制の充実を図る。	防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化	防災関係機関等との連携、防災意識や避難行動の啓発	防災訓練の充実・強化、特に土砂災害に対する訓練強化を図る。
14	○	市総合防災訓練	市民の防災意識の高揚と災害時における関係機関の連携体制を確認するため、土砂災害を想定した地域参加型防災訓練を実施する。			
15	○	避難所体験・運営訓練	地域住民等による避難所の運営、食事、宿泊といった実際の避難所生活に近い環境を体験する訓練を実施する。			

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
16		新・予防情報システム及び北九州市総合防災情報システムの更新	北九州市総合防災情報システムに、全庁GISを連動させるとともに、罹災証明書の発行機能を加えるなど、災害対応に係る機能を強化する。	災害時の情報伝達手段など防災情報の充実	災害時における迅速・確実な情報伝達、災害弱者への確実な情報伝達	災害情報提供ができる施設・体制整備を図る
17		市街地表示式避難地案内板更新事業	災害発生時に、市民及び来訪者の避難行動を円滑にするため、避難地案内板の内容を更新する。			
18		防災情報収集システム運営管理	災害に関する情報を迅速に収集し、災害情報の自動配信やホームページへの防災情報の掲載などを行う。			
19		防災行政無線高度化事業(撤去)	同報系防災行政無線の整備完了に伴い、既設の移動系防災行政無線の撤去を行うもの。			
20	○	防災行政無線	沿岸部に居住している住民等に対して、津波に関する情報を迅速かつ効果的に伝達する手段である防災サイレン・スピーカーを運用する。			
21		被災地復興支援事業	東日本大震災の被災地である釜石市への市職員派遣等、被災地のニーズに沿った支援活動を行う。	被災地支援	被災地ニーズへの対応職員派遣の継続	釜石市役所内に設置した「北九州市・釜石デスク」等を通じて、被災地のニーズに即した支援を行う。
22		危機管理室一般管理費	危機管理室危機管理課における、日常的な庶務経費。	その他	-	-
23		新・研究集会等参加(地域改善)	地域改善対策事業のための研修旅費等事務費			